

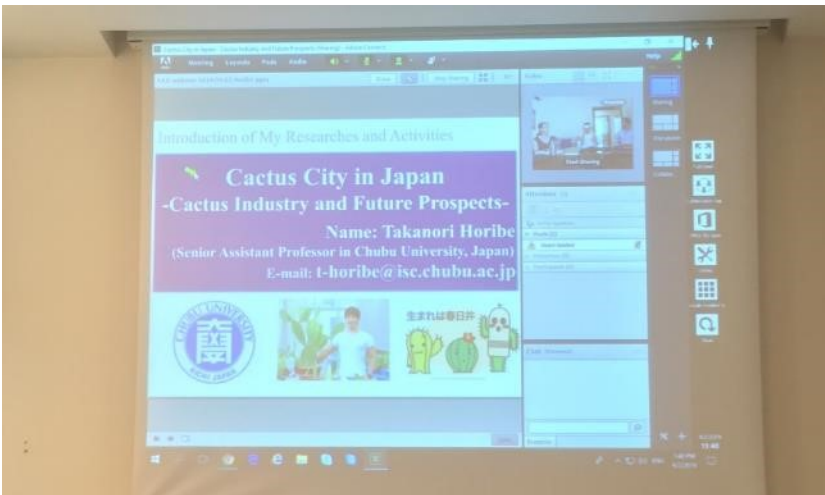
イタリア出張(2019年9月)

- ①ローマの国連食糧農業機関(FAO)での講演と、
- ②サボテン果実産地のシチリア島を調査してきました。



①FAOでサボテンの講演 (2019年9月2日)

アジアはサボテン研究者が少ないらしく、「いつか日本でシンポジウムをやって欲しい」とのこと。頑張ります。



FAOの外観

FAO訪問者は必ず案内されるというカフェテラス

コロッセオやヴァチカンも見え景色は非常に良いです。



FAOの食堂(職員の国籍も多様)



ローマ市内のスーパーでサボテン果実を発見



↓トウナと呼ばれるサボテン果実
味はカキに似てると思います。
パパイヤに例えられることも。



②シチリア島を調査

ヨーロッパ最大のサボテン果実産地。
サボテンがいたる所に。
(街路樹、市場での果実販売、土産物)

また線路や道路沿いにも野生化した
ウチワサボテンが繁茂。



サボテン果実の研究をしているパレルモ大学を訪問

写真はパレルモ大学の遺伝資源コレクション。感動しました。



案内してくれたジョージア先生





栽培試験中のサボテン達



✪ 道中で見かけたサボテン土産たち ✪



サボテン果実(パレルモ市内の市場)



✦ 世界の車窓から (サボテン畑) ✦



全てはご紹介できませんが、非常に実りの多い旅になりました。
これからもサボテンの世界を旅していきます。
(↓FAOのカフェテラスにて)

